

2023 年度（2024 年春実施）イタリア・アグリツーリズム・ワークショップ

中央大学法学部 教授 工藤 裕子

hirokokd@tamacc.chuo-u.ac.jp

目的

イタリアではなぜ、田舎が元気なのか？

イタリアの小都市はなぜ、（人口は少なくても）限界集落にならないのか？

なぜ若者が中山間地域の小都市で事業を興したり政治に携わったりするのか？

なぜ若者が農業に就くのか？ 人材はいかにして育成できるのか？

地中海式ダイエットの代表格である伝統的なイタリア料理はいつ、どのようにして確立したのか？ その現代的な意味とは？

スローフードとは何か？ キロメートル・ゼロ運動とは？ EU および国内の原産地呼称・地理的表示とは？

中小企業・零細企業ばかりの地場産業がさかんな理由は？ 伝統工芸を支える次世代を育成する方法は？

ウェルビーイングを支える食、スポーツ、生き方とウェルネス産業とは？

持続可能な産業、持続可能な観光は可能か？

アグリツーリズムとは？ アグリツーリズムはなぜコロナに強かったのか？

ポスト・コロナ時代の観光業とは？

これらへの答えを、政治・行政・企業関係者への取材、また体験を通して考えていただきます。

*特徴

1. ファッジオーリ農場(ボルゴ・バジーノ)に7泊7日滞在し、エミリア＝ロマーニャ州内を広く深く視察します。インテンシブな一週間を過ごしていただきます。
2. 今年度も体験、見学に加え、関係者との懇談を重視します。また、全体的に時間にゆとりを持たせ、訪問先の数を絞り、一か所での滞在時間を長めにします。
3. ロシアのウクライナ侵攻に伴う航路の変更・減少および燃料費の高騰、また円安に伴い、航空券、現地交通費、現地宿泊費が高騰しています。ご了承下さい。

1. 行程（案）：別添

2. 費用

（旅行代理店振込分と、現地支払分にわかれます。前者は事前振込。後者は現金支払です）

- ① 旅行代理店振込分：往復航空券（エコノミークラス）＋ローマ2泊（2人1部屋、朝食込み）＋ミラノ1泊（2人1部屋、朝食込み）＝257,400円（現時点での最大値。参加人数次第でこちらより安くなります）
- ② 現地支払分：ファッジョーリ農場滞在費（7泊7日の宿泊費、3食、飲み物代、入場料・入館料、材料代、手数料、資料代、諸経費等すべて含む）＋貸切バス代（ローマ～ファッジョーリ農場、農場滞在中の移動、ファッジョーリ農場～ミラノ）＝1900ユーロ＋400ユーロ＝2,300ユーロ

の合計となります。

逆に、期間中に含まれないものとしては、ローマおよびミラノでの昼食代、夕食代、自由散策時の経費、お土産等の購入費などのみです。

それ以外の期間中については3食飲み物すべて込みとなります。

1. 見積もりでは、航空券はエコノミー、ホテルはツインで見積もっております。それ以外のご希望があれば対応可能ですが、予約時に必要になりますので、プレミアム・エコノミーやビジネス、もしくはホテルでシングルのご希望があればご連絡下さい。

2. ファッジョーリ農場滞在中は、アパートメント形式のお部屋（部屋は基本的に2名、アパートメントあたり3～4名の可能性あり）のため、シングルをご希望の場合、農場近くの別のアグリツーリズムにお泊りいただくことが可能です。ご希望があればご連絡下さい。また、全体の人数の関係で、何名か別のアグリツーリズムに泊まってしまうことになるかもしれません（部屋割りの詳細は調整中）。朝食前にお迎えにあがり、朝食から夕食までは一緒に行動となります。アクティビティから戻って夕食まで時間がある場合等はもちろんいったんお部屋にお戻りいただけるようにしますので、ご安心下さい。

3. 旅行代理店ですが、今年度も昨年に引き続き JTB にお願いすることになりました。東京以外の出発地の方については国内便との接続、旅程や便の変更等のご相談は直接お願いいたします。また、領収書の発行は、旅行代理店振込分についてのみ可能です。

4. ファッジョーリ農場滞在経費については、領収書を発行いたしません。ただし、要相談ですが発行は可能です。領収書を必要とされる方は必ず事前に工藤までご相談下さい。上記

金額は実質的に付加価値税分を減額してあるため、領収書を必要とされる方については付加価値税をいただくことになります。なお、ファッジョーリ農場滞在経費については、オーナーのファウスト・ファッジョーリさんのご厚意で学部学生割引があります。学部学生については滞在費が変わりますので、個別にお申し出下さい。